



5月園だより

第一早蕨幼稚園
園長 生田 増美

新年度が始まって1ヶ月、色鮮やかな新緑の木々の下、今年もだんごむし探しが始まりました。小さな手のひらにだんごむしを乗せて、「ほら！見て、見て」と友だちや先生に嬉しそうに見せています。そして、数日すると、毎年決まって、だんごむし博士が登場します。だんごむしの色や形状で、オス、メスを見分けたり、餌や生態について蘊蓄を傾けたり、だんごむしが集まる場所を、レーダー並みの探知力で探し当てたりしています。「だんごむしはどこだ？」に始まり、「だんごむしってどんな虫？」と興味や探求心はどんどん広がっています。「あそび」の中には、好奇心や、探求心、想像力や思考力、命を感じる体験等々、成長に欠かせない様々なエッセンスがいっぱいです。

今年度は、始業式の翌日から、平常日課が始まりました。子どもたちが疲れないかなという心配も少しありましたが、そんな心配も何のその、おかげで、例年よりも早く新しいクラスに馴染むことができたようです。5月からも楽しい行事が続きます。年長組のいちご狩り、保育参観や内科検診、歯科検診、運動遊びや器楽遊び、茶道もあります。エルトン先生も、楽しい遊びをたくさん考えて、子どもたちと一緒に遊ぼうと大張り切りです。泥んこや水遊びも、もうすぐ盛んになることでしょう。これからも、子どもたちの楽しい気持ちを大切に、夢中で遊ぶ毎日を過ごしていきたいと思えます。

◎交通安全にご協力ください。

※以下の三点について、幼稚園の近隣の方から、ご連絡をいただいています。

①幼稚園付近には一旦停止箇所が数か所あります。

一旦停止をしっかりとされない車があり、大変危険です。特に朝の9時過ぎには、走行スピードも速く、一旦停止をしっかりとされていない車が多いそうです。9時10分を過ぎても、職員室横の門から、園内に入ることはできますので、慌てずに安全に登園してください。また、住宅街ですので、時間に関わらず、ゆっくりと静かに走行し、確実に一旦停止をし、事故のないように注意をしてください。

②園の第一駐車場から、道路に出る際も確実に一旦停止をし、ゆっくりと道路に出てください。

③根石小学校周辺は、小学生の登校時間は、通行禁止の道路があります。また、一方通行の道路（終日）もあります。今一度、標識を確認してください。

◎体調不良の際のご連絡について

お子さんの体調不良の際の、園からの連絡基準として、37.3度を超えた場合にご連絡をさせていただきます。その他、元気がない、食欲がない、軟便、嘔吐などの場合は、37.3度よりも熱が低い場合でも、ご連絡をする場合があります。登園、欠席の判断も、上記を目安にさせていただくと良いと思えます。

◎園での薬の服用、塗布について

園では薬の誤飲等の事故をふせぐため、職員が薬を飲ませたり、塗布したりはお断りをしています。緊急を要する場合やエピペン等の、特別な薬についてはご相談ください。



◎降園後のグラウンド開放について

降園後から15時30分まで、グラウンドの砂場付近を開放しています。降園後になりますので、保護者の責任の下で、遊んでください。スポーツ振興センターの対象にはなりません。15時30分になりましたら、遊具等の片づけをしてお帰りください。課外（英語、サッカー）の教室に参加している方も、15時30分過ぎでの終了になりますので、課外終了後にはグラウンドの利用はできませんので、ご了承ください。



「パパの目、ママの目、いろんな目」

入園、進級して1ヶ月。まだまだ慣れない園生活に不安そうな子がいます。ご家族と離れることが寂しくて、「ママがいいー」と泣いている子もいます。おにいさん、おねえさんになったと張り切っている子、頑張らなくちゃ！と自分を奮い立たせている子もいるでしょう。どの子も、それぞれに自分の気持ちを表現しながら生活しています。

私事ですが、4月から保育園に入園した2歳の孫がいます。お母さんと離れるのは初めて。普段は、我家に預けられても平気で、甘々じーじ（我が夫）にべったりの甘えん坊です。さて、保育園に入園して3日目、ついに「嫌だ～！行かない～！」が始まりました。どう言い聞かせても、着替えもしないとのこと。困った息子夫婦から相談されました。内心、きたきたと思いながら「大丈夫だって。先生に任せてパジャマのまま登園すればいいじゃない。お願いします、って置いてきてしまえばいいんだよ。そのうち、保育園は楽しいってわかるからね」と呑気なアドバイスをしました。何となく納得した息子たちとは反対に、大変なのは、じーじです。「何がそんなに嫌なんだ」「先生は見てくれているのか」と大騒ぎ。そして、先週末「こわい～」と、行き渋って泣いている動画を目にして、「先生に叱られているのか」「誰かが意地悪しているのか」と言い出す始末。ついには、早速、孫の迎えに名乗りを上げました。案の定、帰り際の泣いている姿を見て、可哀そうで、お菓子を買いに連れて行ったという報告を受けました。まあ、気持ちはわからない訳でもないけどね、と思いつつも、苦笑いの私です。しかし、息子夫婦の不安そうな話にも耳を傾けながら、私たちは、ご家族の思いにちゃんと寄り添えているだろうか、と改めて自分に問うています。私たちは、ご家族が知らない子どもたちの園での様子を知っています。そして、泣いている子の、今後、育っていくであろう道を想像することができます。しかし、我家の様子を見ていると、ご家族がどれほど心配しているのかを、更に思い描く必要があり、もっと伝えることが必要なのだと改めて感じています。

子どもを見つめる目はたくさんあります。両親や祖父母、近所の方……。色々な目で、思いで、色々な角度で子どもを見つめ、慈しみ、共に生きています。どの目の思いも大切に、間違いではないのだと思います。その中の一つに、私たち、保育者の目もあります。ご家族の気持ちにもっともっと寄り添い、保育者の目に見える子どもたちの姿をしっかりと伝えていくことの大切さを改めて思っています。

今年度より0歳児～2歳児の「ママとあかちゃんのへや」を開催します。入園前のお子さんを見つめるたくさんの目の一人になりたい、という思いです。どうぞお気軽に遊びに来てください。そして一緒に子育ての楽しさに参加させてください。ママやパパにとって楽しい時間になりますようお願いしております。